

宮城県 剣道道場連盟

◆加盟団体数 61
◆会長 遠藤紀一 教士七段
◆事務局 〒981-1505
宮城県角田市角田字田町52
TEL 0224-62-2292

「東日本大震災において、特に沿岸部は甚大な津波被害を受け、道連会員の自宅、道場流失、道場生がバラバラになった道場がある。しかし、道場流失でも体育館で稽古再開をしたところもあり、全国からの支援に支えられ“がんばろう!! 宮城”を合言葉に、普通に稽古できる喜びに感謝しながら、日々取り組んでいる」(遠藤会長)

道場ファイル 35

が ぎゅうかんどうじょう 臥牛館道場

宮城県剣道道場連盟 登録番号 1

◆館長 遠藤紀一 教士七段
◆設立年 1966年
◆所在地 〒981-1505 宮城県角田市角田字牛館148
◆連絡先 遠藤紀一 TEL 0224-62-2629
◆稽古日・時間
少年・一般・居合 火・木・土 18時～19時30分
ホームページ
<http://gagyuu.kendo-dojou.com/>

昭和41年、角田市において少年剣道の走りとなる臥牛少年剣道錬成会を設立した。当初は竹刀の調達も不自由で、青竹を切り、竹刀代わりにして稽古を行っていた。稽古場は角田小学校体育館であったが、次第に会員も増え、59年5月に現在地に道場を建設し、稽古場を移した。名称も臥牛館道場と改称し、日本伝統文化の剣道を通して、青少年の人間形成に必要な教育を重点に置き、礼儀作法のしつけ、心身の練磨、館長が文武両道の精神を教えていく。良い人間となるための修養道場として、地域に根ざした存在となっている道場である。

数多くの献身的な協力があるの道場

であり、大会に参加し、好成績を収めるとともに県内外に知られるようになった。

また、臥牛館道場訓「錬成三つの誓い」は、遠藤館長の剣道の師である玉手達士が道場完成の折に作詞した歌を基に、創案されたものである。

一、剣道を通して立派な人間になります。
一、剣道を通して強い体と心を磨きます。
一、剣道を通して友達をつくり、協力しあいます。

最近では親子で剣道を習うケースも増えており、年に一度開かれる「親の会」主催のクリスマスパーティーでは、一人一芸に親子・先生方、後援会の帰雁会も大いに盛り上がる。

2001年宮城国体の折り、道場来訪の先生方と道場生一同



日本武道館にて記念撮影



天神社祭典において行なわれる野試合



道場ファイル 36

古城剣修館の名前の由来は、道場を使用している宮城刑務所が伊達政宗の隠居城であった若林城跡にあり、現在の地名が仙台市若林区古城であることによる。若林城は堀跡と土塁が今でも残されたままであり、宮城刑務所はその土塁の上に高い塀をめぐらして建設されている。

古城剣修館の発足は平成18年6月、地元地域からの強い要望により、社会貢献ということからも応えるべく、周辺地域の子どもたちに宮城刑務所刑務官が教え始めたことが始まりであった。30名を超える園児、小・中学生が基本打ち、打ち込み、掛かり稽古、試合稽古

等、元気に稽古に励んでいる。幼少年の健全育成を指導の目的として、とくに元気に挨拶・返事ができるように指導を心がけている。女子が多いのも特徴であり、楽しい中にも厳しさのある稽古となっている。

年間行事には、餅つき、クリスマス会、忘年会、送別会などがある。平成25年の稽古始めでは、恒例の餅つきが行なわれた。子どもたちはそのほとんどが初めての経験であり、ついたお餅は飴餅とお雑煮にして先生、父母と一緒に楽しく味わった。生徒募集は随時、見学もいつでも大歓迎であり、入館決定者には竹刀一本がプレゼントされる。

ふるじろけんしゅうかん 古城剣修館

宮城県剣道道場連盟 登録番号59

◆館長 瀬戸信浩 教士七段
◆設立年 2006年
◆所在地 〒984-8523 宮城県仙台市若林区古城二丁目3-1
◆連絡先 瀬戸信浩 TEL 080-6055-0437
◆稽古日・時間
少年 火・木 19時～ 土 9時～

ホームページ
<http://www.ac.auone-net.jp/~huruziro/index.html>

道場生一同。平成25年3月の送別会にて



今年1月5日に行なわれた餅つきにて



稽古風景

